



1学期の振り返りを

梅雨は続いていますが、少しずつ暑くなる日々が夏の訪れを感じさせてくれます。梅雨の晴れ間には、中庭や運動場で外遊びを楽しんでいる子どもたちを見かけます。どんよりした雲を吹き飛ばすような子どもたちの笑い声が響きわたっている愛宕小学校です。

7月に入りました。昨日の月曜朝会では、梅雨と文月(七月)について話しました。

梅雨は、中国でちょうど梅の実が熟すころに長く降る雨の時期のことです。子どもたちが4月から頑張ってきたこと、取り組んできたことが実を結ぶころと重なります。

文月(7月)は「ふづき、ふみづき」といい、「文被月(ふみひろげづき、ふみひらきづき)」が略されて「文月」になりました。この文被月とは、書道の上達を祈って、短冊に歌や願い事などを書く、七夕の行事にちなんだ呼び方だといわれています。文とは、書道だけでなく、学問・勉強のことを指したりもします。今月は、1学期のまとめの時期となります。「夏休みまでの3週間で、やるべきことをしっかり終わらせ、すっきりとした気持ちで夏休みを迎えられるようにしましょう」と、話しました。

ご家庭におかれましても、夏休みに入る前のこの時期に、1学期の足跡(お子さんの頑張りを)振り返りながら、夏休みの目標や挑戦したいことなどを話し合っただけると幸いです。

学びを深めています

各学級で子どもたちが意欲的に学習へ取り組む姿が見られます。今後も子どもたちが学ぶ楽しさを実感できるよう、授業を展開してまいります。



《実験で確かめる》

予想を立て、風の強さと車の走行距離の関係を調べました。繰り返し行うことで法則を見つけました。



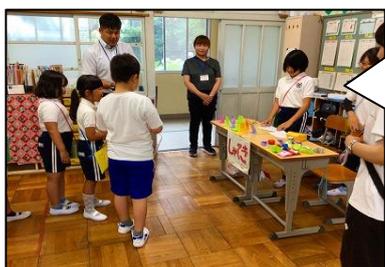
《チームで学び合う》

社会科「産地調べ」の授業では、タブレットを活用しながら調べた情報をやり取りし、産地の特徴を見出しました。



《現場で学ぶ》

岡崎市中央クリーンセンターの見学では、ごみ処理のしくみ、ごみの種類と量、ごみの仕分けの大切さを学びました。



《成果を共有する》

単元「あたご祭りを開こう」では、学習した内容を発表するとともに、相手に合わせた対応の大切さを学びました。



《生活へ生かす》

衣類の汚れを落とすために、実験を通してさまざまな洗濯の仕方を探求しました。得た学びを家庭生活に生かします。